

平成29年度

学校教育自己診断結果



岸和田市立産業高等学校  
定時制の課程

## 平成29年度学校教育自己診断目標設定と結果

実際に学校生活を送っている生徒の結果について、以下の共通項目全てについて、肯定率（「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計）60%以上を目標に設定し取組みます。

1. 学校生活の充実について	平成28年度	平成29年度
診断項目	肯定的回答	肯定的回答
学校へ行くのは楽しい	55.6%	63.5%
<b>2. 授業の充実について</b>		
授業は分かりやすく楽しい	73.0%	58.7%
<b>3. 学力習得感について</b>		
学力は身につけてきている	63.5%	68.3%
<b>4. ホームルーム、学校行事の参加について</b>		
ホームルーム活動に積極的に参加している。 学校行事や生徒会活動に積極的に参加している。	53.2%	50.8%
<b>5. 学校行事の工夫について</b>		
学校は、学校行事を楽しくおこなえるように工夫している。	77.8%	77.8%
<b>6. 相談体制について</b>		
先生は、生徒の意見をよく聞いてくれる。 先生は、悩みや相談に親身になって応じてくれる。 先生は、他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。 担任以外にも、保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる。	76.2%	74.2%
<b>7. 教科指導の工夫について</b>		
先生は、教え方にさまざまな工夫をしている。	84.1%	85.7%
<b>8. 成績の評価基準について</b>		
先生は、テストの得点だけではなく、生徒の努力や授業に取り組む姿勢などを含めて学習の評価をしている。	85.7%	90.5%
<b>9. 生活指導について</b>		
先生は、学校生活について適切に指導している。 先生は、いろいろな問題を見逃さずに対応してくれる。	76.1%	73.1%
<b>10. 進路指導について</b>		
学校は、ホームルームや面談などで将来の進路や生き方について考える機会を提供している。 学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。 学校は、進路実現（就職・進学対策）を積極的におこなっている。	70.9%	66.1%
<b>11. 人権教育について</b>		
この学校では、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い。 この学校では、人権の大切さについて学ぶ機会が多い。	73.1%	66.7%

### 【考察】

「学校へ行くのは楽しい」の肯定率は、約8ポイント改善し、目標を達成した。

「授業は分かりやすく楽しい」についてはポイントを下げ60%を切ってしまったが、「学力は身につけてきている」と実感できている生徒が増えている。今後さらなる分析が必要である。

「ホームルーム、行事、生徒会活動に積極的に参加している」については改善が難しい課題であるが、「学校は、学校行事を楽しくおこなえるように工夫している」については評価を得ている。

多少の変動はあるが、全体を通して傾向は変わらないと思われる。

## 平成29年度 学校教育自己診断 生徒

項目	内 容	肯定的	否定的
1	学校へ行くのは楽しい。	63.5%	36.5%
2	授業はわかりやすく、楽しい。	58.7%	41.3%
3	学力は身に付いてきている。	68.3%	31.7%
4	ホームルーム活動に積極的に参加している。	49.2%	50.8%
5	この学校に入学して、信頼できる友人ができた。	60.3%	38.1%
6	学校内での友人関係を、わずらわしく思うこともある。	38.1%	60.3%
7	学校行事や生徒会活動に積極的に参加している。	52.4%	46.0%
8	部活動や放課後の諸活動に積極的に参加している。	25.4%	71.4%
9	検定試験の資格取得のため、自分自身は努力している。	65.1%	34.9%
10	先生は、生徒の意見をよく聞いてくれる。	82.5%	15.9%
11	先生は、教え方にさまざまな工夫をしている。	85.7%	14.3%
12	先生は、テストの得点だけでなく、生徒の努力や授業に取り組む姿勢などを含めて学習の評価をしている。	90.5%	7.9%
13	先生は、学校生活について適切に指導している。	81.0%	17.5%
14	先生は、悩みや相談に親身になって応じてくれる。	74.6%	23.8%
15	先生は、他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。	73.0%	25.4%
16	先生は、いろいろな問題を見逃さずに対応してくれる。	65.1%	33.3%
17	先生は、責任を持って授業やその他の仕事に当たっている。	77.8%	20.6%
18	担任以外にも、保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる。	66.7%	31.7%
19	学校は、ホームルームや面談などで将来の進路や生き方について考える機会を提供している。	66.7%	28.6%
20	学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	65.1%	31.7%
21	学校は、進路実現(就職・進学対策)を積極的におこなっている。	66.7%	31.7%
22	学校は、ホームルーム活動を積極的におこなっている。	74.6%	23.8%
23	学校は、学校行事を楽しくおこなえるよう工夫している。	77.8%	19.0%
24	学校は、資格取得の取り組みを積極的に行っている。	84.1%	15.9%
25	学校は、地震や火災などの災害時にどのような行動をとればよいか、具体的に知らせている。	74.6%	23.8%
26	この学校では、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い。	66.7%	30.2%
27	この学校では、人権の大切さについて学ぶ機会が多い。	66.7%	31.7%
28	校長先生の考えや話は、興味深くよくわかる。	49.2%	49.2%
29	教室や特別教室などは、活動しやすいように整備されている。	74.6%	23.8%

※ 肯定的:「よくあてはまる」+「ややあてはまる」  
 否定的:「あまりあてはまらない」+「まったくあてはまらない」

◆ 学校の取り組みに対する評価から

ほぼ全ての設問において、肯定的意見が過半数を占める結果となった。特に資格取得の取り組みについては8割以上、ホームルーム活動や学校行事の工夫については7割台後半の生徒から肯定的な回答を得た。昨年度に引き続き高い水準であり、引き続き「府内唯一の商業科定時制」や「アットホームな指導体制」という本校の特色を活かした指導に取り組んでいきたい。

◆ 教員に対する評価から

全ての設問において、肯定的意見が過半数を占める結果となった。特に、テストだけではなく努力や姿勢に応じた評価を行っているか、という設問では9割を超える生徒が「よく当てはまる・やや当てはまる」と回答した。さらに、教え方に様々な工夫をしているか、との問いにも8割強の生徒が肯定的回答を示した。教員一人一人が生徒や学校の実態を的確に捉え、実践的指導を実施している結果と考え、引き続き努力していきたい。

◆ 生徒自身に対する評価から

「学校へ行くのは楽しいか」との問いに対し、肯定的な回答をした生徒の割合が昨年度より約1割増加した。本校には、人間関係のこじれや不登校経験者が数多く在籍しているが、この結果は本校が通いやすく安心できる場所として認識されていることを示すものといえる。また、「学力は身に付いてきているか」との問いに対しても、肯定的な回答をした生徒が約1割増加している。これは、本校が注力している基礎・基本の定着指導が着実に浸透している結果と考えられる。今後も、生徒が安心して登校でき、学びを実感できる学習環境の整備に努めたい。

## 平成29年度 学校教育自己診断 保護者

項目	内 容	肯定的	否定的
1	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	98.3%	1.7%
2	学校は、保護者の願いに応えている。	96.6%	3.4%
3	学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	91.4%	8.6%
4	学校の成績評価や進級規定について理解している。	98.3%	1.7%
5	学校の進路指導は適切に行われている。	94.8%	5.2%
6	学校の生徒指導方針に共感できる。	96.6%	3.4%
7	学校は、保護者の相談に適切に応えている。	96.6%	3.4%
8	各教科の授業は、わかりやすいようだ。	77.6%	22.4%
9	教員は、子どもを理解し、公平に接している。	94.8%	5.2%
10	子どもは、いろいろな悩みを教師に相談できる。	77.6%	22.4%
11	子どもは、自分のクラスが楽しいと言っている。	72.4%	27.6%
12	子どもは、文化祭・体育祭・校外学習などの学校行事に、積極的に参加している。	69.0%	31.0%
13	学校は、いじめ等に対して適切に対処している。	89.7%	10.3%
14	学校は、生命を大切にすの心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	96.6%	3.4%
15	学校は、教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢がみられる。	87.9%	12.1%
16	学校は、生徒や保護者に地震・台風などの緊急時の行動を知らせている。	94.8%	5.2%
17	学校は、授業参観や懇談会等をよく設けている。	98.3%	1.7%
18	学校から保護者への文書等は適切である。	93.1%	6.9%
19	学校では、生徒に関するプライバシーが守られている。	93.1%	6.9%

■学校の平素の教育活動に対して、何かご意見がありました、ご自由にお書きください。

- ・いつもお世話になっております。楽しく通っております。どうぞ今後とも宜しくお願いします。
- ・子どもが手紙を見せない時があるので、インターネットでの情報やメール連絡はすごく助かっています。

### ■考察

今年度、すべての項目において肯定的な回答が多数を占め、本校の教育活動にご理解を頂けているものと思われる。

項目1～7、9および13～19に関し、ほとんどが90%を越す回答を示している。これは、ご家庭との協力・連携体制が図られ、情報提供・共有が密に実施されていることを示すものといえる。今後もご家庭の皆様が安心して通わせることのできる学校となるよう努める。

項目8に関し、昨年より肯定的意見が低くなっている。個々の授業改善は実践されてきているが、学校全体として改善へつなげていけるよう、校内研修を活用し「個に応じた指導」等、教員全体で検討を続ける。

項目12に関し、昨年からは改善がみられたが、学校行事への参加率が他項目に比べ肯定的意見が低くなっている。肯定的意見増に向けての検証を教員全体で実施し、クラス編成およびクラスづくり等も検討していく。また、学年・分掌等の単位でも意見交換を実施し、学校生活全体の満足度向上に努める。

上記の結果を踏まえ、ご家庭との連携を怠ることなく、ご要望に最大限応えられるよう今後も努力していきたいと考えている。ただし、ご家庭と生徒の想いの相違がみられるので、生徒自身が安心して学校生活を送ることができるよう、年度当初から教育相談窓口の情報提供を積極的に実施していく。さらに、学校全体で課題を探り、保護者・生徒・地域社会から信頼し、支援していただけるような学校を目指し、教職員一同取り組んでいく必要がある。

## 平成29年度 学校教育自己診断 教職員

項目	内 容	肯定	否定
1	学校は、教育活動全般について、生徒や保護者のニーズや願いによく応えている。	92.9%	7.1%
2	生徒の実態を踏まえ、授業の学習形態や指導方法の工夫・改善を行っている。	92.9%	7.1%
3	到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。	78.6%	21.4%
4	様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で心がけている。	100.0%	0.0%
5	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	78.6%	21.4%
6	生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、各学年に応じた系統的な進路指導を行っている。	85.7%	14.3%
7	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択できるよう、きめ細かい情報提供を行っている。	71.4%	28.6%
8	ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。	42.9%	57.1%
9	学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。	71.4%	28.6%
10	教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	50.0%	50.0%
11	人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。	35.7%	64.3%
12	様々な偏見や差別のない社会を築く資質を養えるよう工夫している。	64.3%	35.7%
13	体罰やセクシャル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導が行われている。	85.7%	14.3%
14	学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている。	78.6%	21.4%
15	学校運営に、教職員の意見が反映されている。	50.0%	50.0%
16	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	50.0%	50.0%
17	教職員間の相互理解が十分なされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	42.9%	57.1%
18	この学校では、生徒の学校生活の場としての教育環境が整備されている。	71.4%	28.6%
19	この学校では、清掃が行き届いている。	14.3%	85.7%
20	施設・設備の拡充は、長期的見通しに立って計画されている。	35.7%	64.3%
21	施設・設備について定期的に点検や管理が行われている。	35.7%	64.3%
22	校内研修は、適度に企画され、教職員は積極的に参加している。	78.6%	21.4%
23	校外研修は、迅速に情報提供され、積極的に参加できる体制が整っている。	85.7%	14.3%
24	中学校などとの連絡や情報交換の機会を設け、教育活動全般に生かしている。	71.4%	28.6%

## 平成29年度 学校教育自己診断 比較

	項目			評価(肯定率)		
	生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	教職員
1	学校へ行くのは楽しい。	子どもは、自分のクラスが楽しいと言っている。	学校は、教育活動全般について、生徒や保護者のニーズや願いによく応えている。	63.5%	72.4%	92.9%
2	授業はわかりやすく、楽しい。	各科目の授業はわかりやすいようだ。	生徒の実態を踏まえ、授業の学習形態や指導方法の工夫・改善を行っている。 到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。	58.7%	77.6%	85.8%
3	学力は身に付いてきている。			68.3%		
4	ホームルーム活動に積極的に参加している。	子どもは、文化祭・体育祭・校外学習などの学校行事に、積極的に参加している。	ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。 学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。	49.2%	69.0%	42.9%
5	学校行事や生徒会活動に積極的に参加している。			52.4%		
	学校は、学校行事を楽しみおこなえるように工夫している。			77.8%		
6	先生は、生徒の意見をよく聞いてくれる。 先生は、他の人に知られたい秘密を守ってくれる。 担任以外にも、保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる。	子どもは、いろいろな悩みを教師に相談できる。	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	74.1%	77.6%	78.6%
7	先生は、教え方にさまざまな工夫をしている。	各科目の授業はわかりやすいようだ。	生徒の実態を踏まえ、授業の学習形態や指導方法の工夫・改善を行っている。 到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。	85.7%	77.6%	85.8%
8	先生は、テストの得点だけではなく、生徒の努力や授業に取り組む姿勢などを含めて学習の評価をしている。	学校の成績評価や進級規定について理解している。		90.5%		
9	先生は、学校生活について適切に指導している。 先生は、いろいろな問題を見逃さずに対応してくれる。	学校は、生命を大切にすることや社会のルールを守る態度を育てようとしている。	様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で心がけている。 教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	73.1%	96.6%	75.0%
10	先生は、悩みや相談に親身になって応じてくれる。	子どもは、いろいろな悩みを教師に相談できる。	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	74.6%	77.6%	78.6%
11	学校は、ホームルームや面談などで将来の進路や生き方について考える機会を提供している。 学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。 学校は、進路実現(就職・進学対策)を積極的におこなっている。	学校の進路指導は適切に行われている。	生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、各学年に応じた系統的な進路指導を行っている。 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択できるよう、きめ細かい情報提供を行っている。	66.2%	94.8%	78.6%
12	この学校では、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い。 この学校では、人権の大切さについて学ぶ機会が多い。	学校は、生命を大切にすることや社会のルールを守る態度を育てようとしている。	体罰やセクシャル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導が行われている。	66.7%	96.6%	85.7%

※肯定率が高いもの(生徒は60%以上、保護者・教員は80%以上)を色づけした。

1. 三者とも肯定率が高いもの

学習評価について、人権教育については生徒・保護者からの評価も高く、教員も手ごたえを感じているようだ。

2. 生徒・保護者と教職員で意識が異なるもの

生活指導、進路指導について教員は工夫の必要性を感じているが、生徒・保護者からは評価を得られている。

相談体制については、保護者・教員は工夫が必要と感じているが、生徒からは評価を得ている。

教え方の工夫について一定の評価を得られているが、楽しい・わかりやすいかについては少し改善の余地がある。但し、生徒は学力はついてきていると実感しているようだ。

3. 三者とも肯定率が低いもの

行事や生徒会活動への参加については三者とも改善の余地があると考えている。但し、学校側の工夫について生徒からは評価を得ている。